

2026 年度
学校推薦型選抜個別学力検査

獣医学部

小論文問題冊子

解答時間 60 分

注 意

解答始めの指示があるまで問題冊子を開かないこと。

- (1) 解答用紙 4 枚と下書き用紙4枚が同封されている。
監督者の指示があるまで、裏を向けて置いておくこと。
- (2) 解答開始後ただちに、すべての解答用紙の所定欄に、受験番号を丁寧に記入すること。
- (3) 解答は、すべて解答用紙の所定欄に記入し、裏面は使用しないこと。下書きには、下書き用紙を使用すること。
- (4) 解答終了後、配布された解答用紙はすべて提出すること。問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。

本試験問題の一部あるいは全部について、いかなる方法においても複写・複製など、著作権法上で規定された権利を侵害する行為を行うことは禁じられています。

課題 1

下記の「動物の飼育と地域社会—自治体の条例が果たす役割を考える」に関する課題文について解答しなさい。

近年、犬や猫などのペットの多頭飼育や飼育放棄、鳴き声・臭気などによる近隣トラブルが社会問題となっている。大阪府や他の自治体では、動物の適正な飼育と地域の共生を目的とした条例が定められているが、その内容や重点は地域によって異なる。

あなたは、獣医学を学ぶ立場から次の問いについて自分の考えをまとめなさい。ただし、800字以内とする。

- ・動物の飼育に関する条例は、どのような目的で存在すると考えますか？
- ・飼い主、地域住民、行政、獣医師など、それぞれの立場で果たすべき役割について、あなたの考えを述べなさい。
- ・あなたがもし条例を作る立場なら、どのような点を重視して制度を設計しますか？

課題2

下記の新聞記事を読み、問題点を整理したうえで、今後、どのような対策が必要か、あなたの考えを述べなさい。ただし、500字以内とする。

著作権の関係により公表しません

(出典元：読売新聞オンライン 一部改変)